教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和
編集人 小西宏典
電話 050（3538）2346
1部15円 年定価360円
（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2018/12・1
No. 1964
2面
・第68次兵庫県教育研究集会 分科会

2018対県給与確定闘争
月例給・一時金ともに5年連続引き上げ！

県庁舎に向かって
シュプレヒコール

決意表明

県教委との最終交渉に臨む
兵教組本部

兵庫県教育長に要求書提出

兵教組は第6回戦術会議において、重要案件とした諸課題について、本県の未だ厳しい財政状況の中にあって、今回の県教委回答を今期対県確定の到達点と受け止め、11月27日午前2時00分、県教委提案を受け入れ、妥結した。

兵教組は、2018対県確定闘争において、「行革による独自カット分の補填、今年度分の現給保障廃止反対、基本賃金・一時金の引き上げで、誰もが生活改善できる賃金水準を！」をスローガンに、人事委員会報告および勧告をふまえて県教育長に対し、「2018年度教職員賃金等に関する申し入れ」を提出し、その要求実現をめざして県教委交渉を積み重ねてきた。

また、県職労、兵高教との共闘を強化しながら、11月27日をヤマ場と設定し、具体的回答を要求した。この間、11・5県職労青年女性・兵教組青年部統一決起集会、11・6事務職員部統一決起集会、地区代表による県内9ヶ所での一斉県民局・県民センター申し入れ、11・21第2波統一決起集会を開催し、意思統一をはかった。

さらに、兵教組独自に、青年部・女性部（11・5）、事務職員部（11・6）、臨時採用教職員部（11・13）、養護教員部・栄養教員部（11・14）などの対県要請行動を積み上げ、現場からの要求を訴えてきた。

各地域組合においては「2018対県確定闘争勝利！地域組合要求実現集会」を開催し、県教育長宛「賃金・労働条件の改善に関する要求書」を、99・97％集約した。また、第2回県教委交渉後には、「闘争速報」にもとづき、各分会からの「要求ハガキ行動」、第3回交渉後には、各地域組合、本部専門部から「要求レタックス行動」にとりくんだ。

今年度分の現給保障の廃止見送り！
臨時的任用教職員について、2019年度より空白の一日を解消！

主な県教委回答

◆人事委員会の勧告通り、給料表を改定（平均0、2％の増額改定）
◆一時金は、年間で0・05月分引き上げ
◆臨時的任用教員、2級適用の上限号給を廃止
◆「子育て支援休暇」、対象となる子を「義務教育終了前の子」に拡大
◆妊娠障害に関わる代替教職員の配置要件を「2週間以上」へ緩和
◆通勤手当の高速道路等に係る加算の上限額を30,000円に引き上げ
◆今年度に限り、県事業として教職員の福利厚生事業を実施

県教委は第1回、2回交渉時において、「今後も、震災関連県債残高約3,600億円、行革期間中に発行した財源対策債残高約2,900億円を着実に償還していく必要があること」「一般財源総額の伸びが抑制される中、将来にむかって増加が見込まれる社会保障関係費に適切に対応していく必要があること」「公民較差が極めて小さいことに加え、較差を上回ることになる給料表に改定をおこなうことは、本県職員の給与が民間給与を上回るという異例な改定となり、議会をはじめとする対外的な説明を要する観点からも、慎重な検討をおこなう必要がある」など、本県の財政をとりまく環境は、依然として予断を許さないことや、国・他府県の動向を強調することに終始し、具体的な成案は示さなかった。

第3回県教委交渉において、①給料表を0・2％の増額改定、②行政職給料表の5級においては8号給増設、③一時金について、勤勉手当の支給割合を0・90月分から0・925月分とし、年間0・05月分引き上げ、④再任用職員については、0・425月分から0・45月分とし、年間0・05月分引き上げ、⑤勤勉手当の期間率については、来年度改めて協議、⑥給与構造改革にともなう現給保障については、さらに4分の1を廃止し、現行の内容とあわせて合計2分の1を廃止することとし、総合的見直しにともなう現給保障についても、新たに2分の1を廃止すると回答した。

この回答を受け、兵教組は、10年余に渡る行革による独自カットの痛みに耐えてきた経緯から、今年度分の現給保障の廃止見送りをもとめた。

この間、粘り強く訴え続けた現給保障の廃止見送りについては、第4回交渉で「給与制度の総合的見直し（2015年）の現給保障については、今年度末の廃止を見送る」とし、第5回交渉で「給与構造改革にともなう現給保障（2006年）についても、同様に廃止を見送る」と回答した。

また、臨時的任用教職員の処遇改善や、休暇・休業制度の拡充などについては、第4、5回で成案は示されなかったが、第6回交渉において、臨時的任用教職員の空白の一日の解消や、2級適用の上限号給の廃止、子育て支援休暇の拡大、妊娠障害に関わる代替教職員の配置要件緩和など、多岐にわたって回答があった。

教育長は「お示しした内容については、行革のとりくみに一定の区切りを迎え、今後、新たなステージにむけ、限られた選択肢の中で私どもが取り得る精一杯の内容である。何卒ご検討をよろしくお願いしたい」と述べた。

兵教組は第6回戦術会議において、本県の未だ厳しい財政状況の中にあって、今回の県教委回答を今期対県確定の到達点と受け止め、県教委提案を受け入れ、妥結した。

給与改定差額については、後日調整。

県庁のまわりをデモ行進する参加者たち

女性部要請行動

青年部要請行動

臨採部要請行動

事務職員部要請行動

栄養教員部要請行動

養護教員部要請行動

兵庫県学校厚生会の会員の皆さまへ

学校厚生会の団体扱自動車保険　大口団体割引21％適用!!

大口団体割引21％は、平成30年12月1日～平成31年11月30日の間に始期日を有するご契約に適用されます。
割引率はその団体のご契約台数と損害率をもとに毎年見直されます。

厚生会の自動車保険　4つのポイント

①大口団体割引21％適用
②一括払でさらに5％割安
③現在ご加入の等級・事故有係数適用期間（等級別割引・割増制度）は引継がれます
④ご家族のお車もご契約できます。2台目のお車もOKです！

【取扱代理店】
一般財団法人兵庫県学校厚生会　見積りセンター
フリーダイヤル：0120－16－6262

【引受保険会社】
あいおいニッセイ同和損害保険（株）
三井住友海上火災保険（株）

このご案内は概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ず各社商品パンフレットおよび「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

（2018年10月承認）B18-102884

ひょうご教育フェスティバル
第６８次兵庫県教育研究集会
分科会
11月10日・11日の２日間

アンケート、速報「ナイスショット」より
参加者の声（一部抜粋）
★印は参加者の感想

三木市で開催された第68次兵庫県教育研究集会の分科会のようす。

1．日本語教育

①「話す・聞く・伝え合う力」について、豊かな「話し合い言葉」を育てる指導とは、②「文学・説明的文章」で「感性」「認識」をいかにして育てるか、③豊かな読書活動を推進する環境づくりとは、を討議の柱として19本のリポートが報告された。

2．外国語教育

外国語を通しての平和・人権・多文化共生を追求する実践を討議の柱として、コミュニケーション能力を見据えた4技能を高める楽しい授業づくりや楽しむ外国語活動、使いたくなる単元づくり等が報告された。★地域人材の活用について参考となる報告があった。

3．社会科教育

★地域に根ざした社会科学習で、自己表現能力を高め合える学習活動の報告では、自分の地域と他地域を比較することで、自分の地域をより深く知ることができるということがわかった。

4．算数・数学教育

★基礎・基本の充実や授業づくりについて、たくさん学ぶことができた。家庭学習・授業など様々な手立てで深い学びを保障していくことの必要性を感じた。

5．理科教育

直接体験をとり入れた自然認識の基礎を育てる教材づくりや指導法、子どもたちが自ら考え、主体的に判断できる力を育てるのに、学習の展開をどうすすめ、どのような教材をつくるかという柱等で討議が深まった。

6．美術教育

地域に根ざした題材の発掘と教材化をどうすすめるかという柱では、和紙染めランプシェードの製作の報告があった。

★偶然できる表現を楽しんだり、地域の丹波布の製作工程を再確認したりする生徒の姿が見られた。

7．音楽教育

基礎・基本をふまえた楽しい授業のための創意工夫や、子どもたちが主体的にとりくむ授業づくりについて討議された。伝統音楽に親しむ体験を通して、地域とつながる音楽教育の実践報告があった。

8．技術・家庭科教育

生活に生かす技術・家庭科教育、全員参加で成功体験をえる授業をめざしてについて討議された。

★学んだことを生活に生かすとりくみが小中で実践されていること、様々なとりくみを知ることができてよかった。

9．保健・体育

保健では、一人ひとりに寄り添った健康教育のあり方や性と生の教育のすすめ方について討議された。

体育では、心と体の高揚感を高める授業づくりや技能を高めるための手立てについて討議された。

10．総合学習

自己の変容に気づける体験学習、深い学びを実現する総合学習の魅力、未来への自分へとつながるキャリア形成の実現、子どもの成長を支える活動等についての活発な討議が続いた。予め予想はするが、子どもが決定することが大事であると提案された。

★どうしていけば分からなかった総合で、いろいろな考えを聞くことができて貴重な一日となった。

11．自治的諸活動と生活指導

（小）「児童会活動・学校行事」「連携・交流」「生活指導」の3つの課題について各分会でのとりくみ、子どもたちの現状などが報告された。児童養護施設から通ってくる子どもについての活動が発表された。

（中）不登校・いじめの早期解決にむけたとりくみの報告、生徒の主体性を生かした生徒会活動等の報告があった。

12．幼児期の教育と保育問題

子どもの発達や学びの連続性をつなげる連携のあり方、現状の子どもの育ちをどう支えるのかを柱の一つとして討議がすすめられた。

★少子化・統合問題で連携がしにくくなってきた。教職員の連携も必要であると感じた。

13．人権教育

様々な人権課題の解消に向けて、つながり合い、支えあう仲間づくり、性差にこだわらない生き方、道徳に人権の視点を取り入れるなどのリポート20本が寄せられた。

★特別支援学級における人権教育や養護教員と連携した「いのちの授業」など、たくさんのことを学んだ。

14．インクルーシブ教育

★支援を要する当事者・保護者・地域で働かれている方々のインクルーシブのとらえ方が聞けてよかった。

★障害のある児童・生徒のキャリア教育について、自分なりの考えを持つためにとても参考になった。

15．国際連帯・多文化共生の教育

★外国にルーツをもつ子どもたちが教育を受けやすい環境を整えていくのに、まだまだ課題が山積みであると感じた。

★学校も地域も連携してバリアをとり除いていくことが、多文化共生へつながると思った。学校や教職員の意識がもっと変わらなければならないと痛感した。

16．ジェンダー平等教育

①性の多様性を尊重し、②性の自立とパートナーとの対等な関係性をつくるための授業実践と学校環境づくりを柱とする討議であった。

★〝無意識の中から生まれる差別〟という言葉が印象に残った。

17．環境・公害・食教育

小学校3年生の環境体験学習事業において、欠かすことのできない校区の環境に焦点を絞り、「自然のすばらしさに共感してほしい。ふるさと意識を育てることを大切にしている」という内容の報告があった。

18．平和教育

戦争の被害面だけでなく、加害面からも考えていくことが大切ということや、「今の自分」が「今の日本」とつながるためには日ごろからのとりくみが重要との報告があった。

★一般の立場で参加した。修学旅行の行き先にしても「どうして、ここなのか、また何を学ばせたいのか」をしっかり持つことで、学習が深められるのだということを知った。

19．情報社会の教育と文化活動

★メディアを効果的に活用し、メディアリテラシーを高める創造的な学習とは、プログラムのことやＩＣＴ活用のよさ・アナログのよさについてヒントが得られた。

20．評価・選抜制度と進路指導保障

進路指導を進路保障・学力保障の立場からどのようにとりくむかを柱の一つとしての討議だった。児童養護施設における進路指導の報告もあった。

21．教育課程

★小中が密な連携をとって同じ方向を向くことが、子どもたちの学力や生活の積み上げができると思う。規模にかかわらず、地域性にかかわらず、手をとり合わなければならない。

22．学校・地域における教育改革運動、小規模・少人数校の教育

★教育は、学校と地域・保護者が連携してはじめて実を結んでいくものと考える。

★少人数で工夫されたとりくみが聞けた。また、地域とのつながりを負担なくかつ有効に生かしていくにはどうすればよいのかという課題が見つかった。

特Ⅰ．生きる力を育む教育

★「震災体験をどう語り継ぐか」ということがいろいろ提案されて、具体物を通して伝える技術のすばらしさを知った。命の大切さが語り継がれる教育の展開が様々あり感動した。

みずおか俊一（しゅんいち）
立憲民主党
教育、くらし、平和
希望ある未来を子どもたちに！

みずおか俊一さんに聞く　～その③～
安心できる「くらし」について

Q: 学校では貧困家庭の子どもがクラスに５～６人はいる計算ですが、くらしを守るために政治はどうあるべきでしょうか。

A: 根本的な解決には、だれもが安心して働き、十分な収入を得られる環境を整えることが不可欠です。近年、非正規雇用が労働者全体の4割を占め、賃金や社会保障制度上の格差が社会問題化しています。労働者の権利保護という労働基準法の精神に則り、関係法令を整備する努力が必要です。また、OECD の調査では、GDP に占める日本の教育予算の割合は、加盟34か国中最下位です。長期的視野で教育予算を配分するよう訴えていかなければならないと思っています。

Lasse Hall
人集い、街華やぐ交流拠点
2018 Winter

兵庫地産（ちさん）フェア
兵庫県産の食材を楽しむ

Fleur
Lasse Hall Infomation
［フルール2018年12月号］
HYOGO 150th Anniversary

日本海と瀬戸内海に挟まれた兵庫は、自然豊かな海や山などに恵まれた食材の宝庫。ラッセホールの「冬のバンケットプラン」では、兵庫県産のさまざまな食材をお楽しみいただけます。ぜひこの機会にご利用ください。

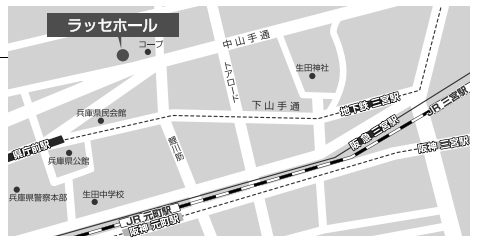
第四弾
冬のバンケットプラン
2018年12/1（土）▸▸ 2019年2/28（木）
2時間制 20名様から

雪 ゆき　お一人様（税金・サービス料込）5,000円
和洋中卓盛り料理
●ポークと白菜のマリネ 黒胡椒風味
●ヤリ烏賊カレー味 兵庫県産野菜とトルティーアのサラダ
●炙りサーモン 醤油ドレッシング
●鰐のフライ コールスロー タルタルソース
●蛸つみれ 厚揚 焚合せ　●若鶏と冬大根のプレゼ
●三田こしひかり 巻寿司 稲荷寿司　●兵庫県産葱の椀子そば
●デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
●コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

柊 ひいらぎ　お一人様（税金・サービス料込）6,000円
和食卓盛り料理
●飴カルパッチョ バジルオレンジの香り
●ペッパーチキン 兵庫県産サラダ仕立て
●お造り二種盛合せ　●蟹のすり身寄せ 蕪含煮
●牛肉と冬大根のプレゼ マスタード風味
●ヤリ烏賊と兵庫県産野菜のペンネグラタン
●三田こしひかり 兵庫県産レタス サラダ巻寿司
●兵庫県産葱の椀子そば
●デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
●コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

椿 つばき　お一人様（税金・サービス料込）8,000円
和洋中卓盛り料理
●ずわい蟹と生ハム 兵庫県産野菜サラダ オレンジ風味
●鴨のプレゼ モッツァレラチーズ バケット添え
●コールミート盛合せ　●お造り三種盛合せ
●スペイン産イベリコ豚 兵庫県産トマト煮込み ポテト
●サーモンと根菜 オーブン焼き
●三田こしひかり にぎり寿司盛合せ　●兵庫県産葱の椀子そば
〈ライブ〉牛ステーキ鉄板焼き
●フルーツ デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
●コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

プラス
フリードリンク
●瓶ビール　●焼酎（芋/麦）　●ウィスキー　●ハイボール　●赤/白ワイン　●日本酒又はカクテル　●ウーロン茶　●オレンジジュース
※記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたしますのでご相談下さい。

ご予約・お問い合わせはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土　9:00～19:00　日・祝　9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10－8
TEL.078-291-1117（代表）
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com